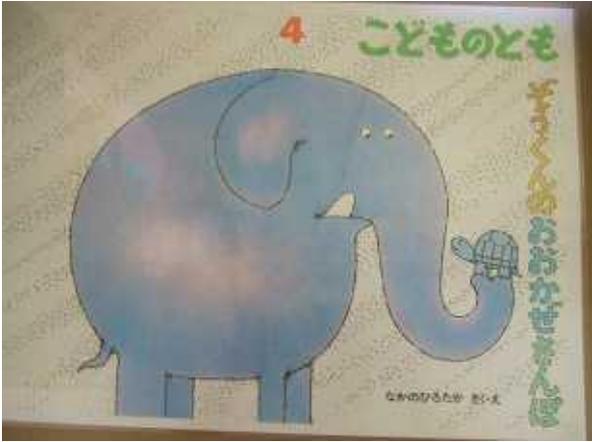


教材事例書式

<p>教材教具名 「ぞうさんのおおかせさんぼ」紙芝居</p>	<p>教科(国語)</p>	
<p>教材教具写真</p> 		
<p>教材教具の概略(ねらいと使い方) 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい ことばや動作の模倣をしっかりとさせていく中で、見たり聞いたりする力を育てる。 絵本や紙芝居を見聞きして楽しむ。</p> <p>2 発達段階 笑顔での交流が育つ時期 模倣・指さしを獲得する時期</p> <p>3 使い方 読み聞かせを行い、繰り返しの言葉などは生徒の発声を促すように言葉かけを行う。 物語の中に出てくる動物の動きを教師と一緒に模倣する。</p>		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)</p>		
<p>「ぞうさんのさんぼ」シリーズは生徒の大好きな絵本なので、期待感をもっていった。 この本は現在廃版になっているため、保護者から借りた本をパソコンで拡大し、紙芝居風にした。 教材としては生徒の反応も良かったが、著作権の問題も心配な所である。</p>		